

# 4HK1搭載ターボチャージャー ベアリング焼付多発



販注12



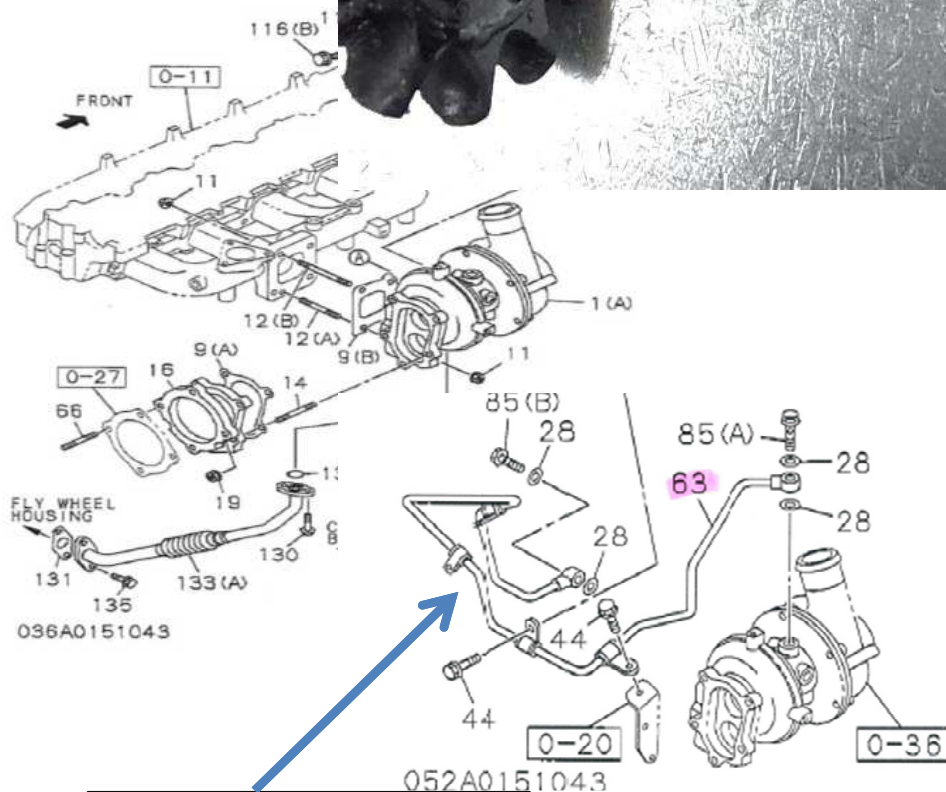
4HK1搭載のターボチャージャーで左写真の如く、エンジンオイル供給不良によるターボ ベアリング焼付不具合が多発しております。

エンジンオイル供給不良の原因として左図の通りターボへの給油パイプが長く(エンジン始動時の給油遅れ)、又、排気マニホールドに近く、の熱影響を受ける為に、長期稼働においてのパイプ詰まりを発生する可能性があります。

よってターボチャージャー交換時及び車両点検時に下記項目を確認、対処ください。

- ①エンジン始動直後の急加速、高負荷運転
- ②オイル供給パイプの詰まり点検及び交換
- ③オイル管理の徹底 使用推奨オイル15W-40  
早めのオイル交換

※定期的なメンテナンスでトラブルを防ぎましょう。



オイル供給パイプ